

# SR 埼玉高速鉄道

これからも、地域の皆さまに「選ばれる鉄道」でありたい。  
地域とともに歩む鉄道として  
皆さまの毎日を、未来を、つないでいきます。

お問い合わせ先：埼玉高速鉄道株式会社

〒336-0967 埼玉県さいたま市緑区美園4-12  
TEL.048-878-6845

協力

一般財団法人 運輸総合研究所  
一般財団法人 計量計画研究所



埼玉高速鉄道

開業

2001 25年の軌跡 2026





これまでも、これからも、  
地域の皆さまとともに

代表取締役社長  
平野 邦彦

埼玉高速鉄道は、2001年3月開業以来  
皆さまと25年を歩んでまいりました。

2001年3月28日、かつて鉄道空白地帯であった川口市鳩ヶ谷地区、戸塚地区およびさいたま市緑区を縦断し、都心直結の利便性と2002FIFAワールドカップを支える輸送拠点の期待を背負い開業いたしました。以来、「安全」「安心」で価値あるサービスを笑顔で提供することを目指し、地域の皆さまに「選択される鉄道」となれるよう日々歩んでまいりました。おかげさまで、2026年3月28日に開業25周年を迎えました。

これまで支えてくださった全ての皆さまに深く感謝申し上げます。私たちはこれからも「安全」「安定」「安心」「快適」な輸送サービスを追求し、地域社会と連携した発展に努めます。そして、誠実かつ公正な経営を貫き、活力ある企業風土を築くことで、次の25年も「選択される鉄道」であり続けることをお約束いたします。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 経営理念「選択される鉄道」

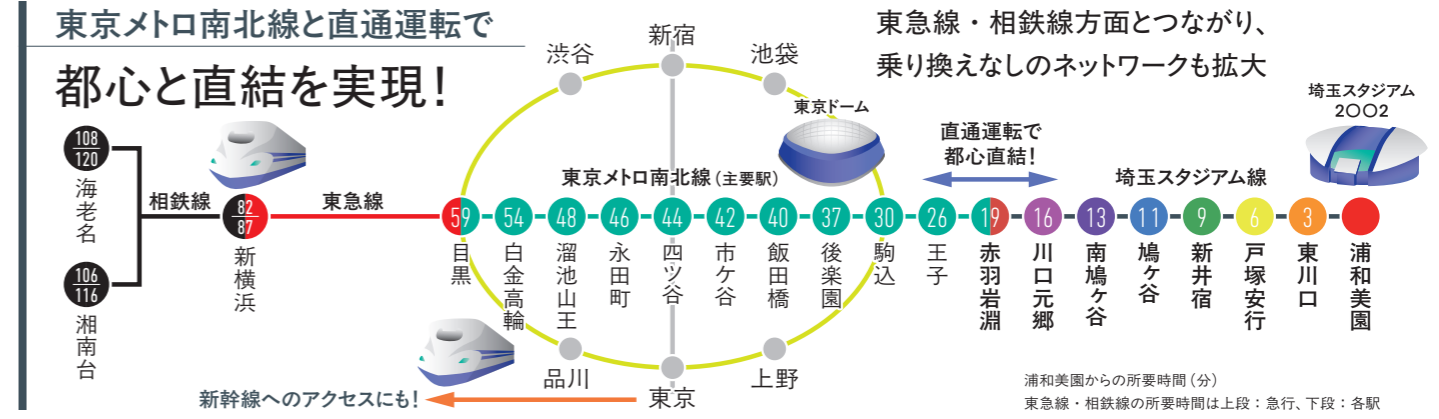
私たちは、安全・安心で価値あるサービスを笑顔で提供し、地域の皆さまに「選ばれる鉄道」を目指します。

- 1 「お客様」にとって  
お客様の立場に立ち、「安全」「安定」「安心」「快適」な輸送サービスをお届けします。
- 2 「地域」にとって  
地域社会と連携し、地域の発展に貢献します。
- 3 「株主」にとって  
健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
- 4 「社員」にとって  
社員のやりがいを高め、活力ある企業風土をつくります。
- 5 「社会」にとって  
法令および社会規範を遵守し、誠実かつ公正であり続けます。



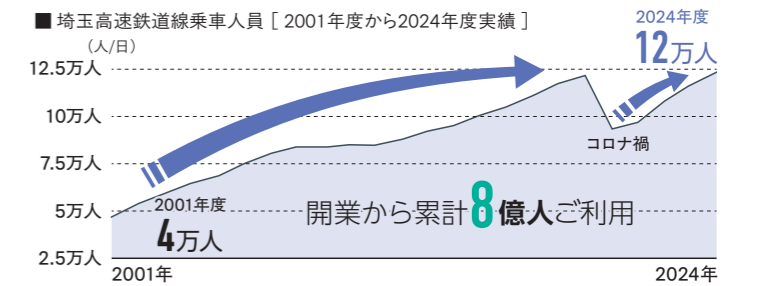
開業から25年

## 鉄道の開業で都心が身近に！ 都心に便利、都心から便利に



### お客様が開業時の

約**3**倍  
コロナ禍による影響を完全に脱し、上昇トレンドへと回帰



### 通勤・通学・遠方へのお出かけも便利に

目的地	開業前	開業後	短縮
浦和美園	96分	54分	42分
戸塚安行	96分	48分	48分
鳩ヶ谷	75分	43分	32分

(出典) 2025年時点のYahoo路線情報より算出。乗車時間、乗換時間、待ち時間の合計。開業前の所要時間は、当時のバス路線と同等の路線を利用する場合を想定して算出。

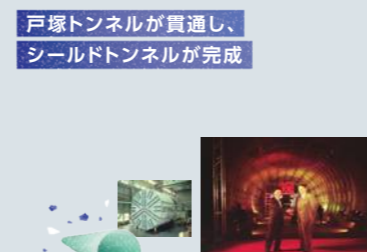
### サッカー開催時の浦和美園駅利用者数

埼玉スタジアム  
サッカー観戦者  
**1,700**万人がご利用

Jリーグ戦 386試合 1,025万人  
日本代表戦 47試合 282万人  
その他サッカー試合 252試合 429万人

### [開業準備期間]

- 1992 埼玉高速鉄道(株)設立
- 1992 第一種鉄道事業免許取得
- 1995 起工式
- 1999 駅名決定
- 2000 トンネル貫通
- 2000 レール締結
- 2000 試験列車入線
- 2001 トンネルウォーク開催



## 埼玉高速鉄道 開業25年の 軌跡

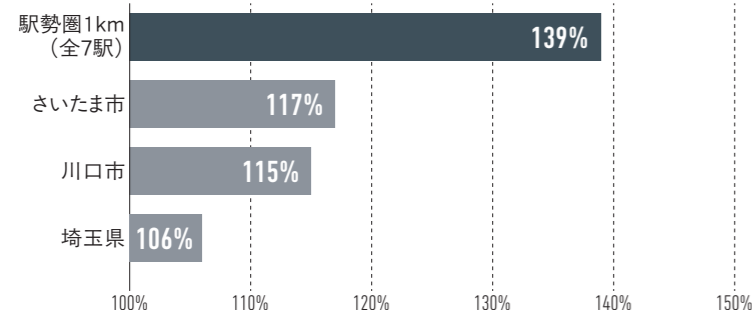
# 鉄道開業効果でまちが大きく発展! 人口が増加し、まちも成長

## 駅勢圏人口が

約**1.4**倍 (約5.8万人増加)

さいたま市、川口市、埼玉県を上回る増加率

人口比率 [2020年/2000年]



## 浦和美園の駅勢圏人口が

約**6**倍  
(約1.3万人増加)

(出典) 国勢調査 地域メッシュ統計(2000年 2020年)に基づき作成  
(注) 駅勢圏は埼玉高速鉄道線の駅から1km圏内を示す

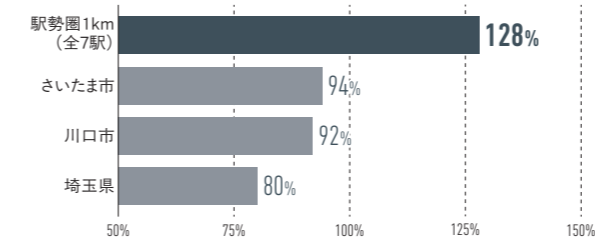
# 子どもを育てやすい環境づくりを応援! 子育て世帯にも選ばれる沿線へ

## 駅勢圏乳幼児(0~6才)子育て世帯が

約**1.3**倍 (約2千世帯増加)

さいたま市、川口市、埼玉県を大きく上回る増加率

■ 乳幼児子育て世帯比率 [2020年/2000年]



(出典) 国勢調査 地域メッシュ統計(2000年 2020年)に基づき作成 (注) 駅勢圏は埼玉高速鉄道線の駅から1km圏内を示す

## 浦和美園の乳幼児(0~6才)子育て世帯が

約**13**倍 (約1.3千世帯増加)

あらたな世代が増えて、まちに活気を

全駅にベビーケアルーム「mamaro」設置!

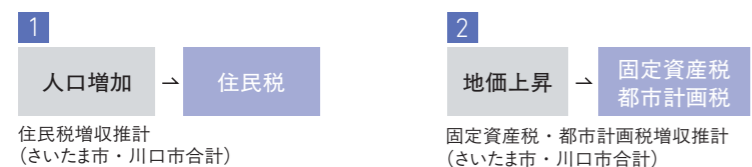


## 地域の税収にも貢献

### 鉄道開業効果で

税収が約**1,240**億円増加

さいたま市・川口市の発展に税収面でも貢献



約**560**億円増加 + 約**680**億円増加

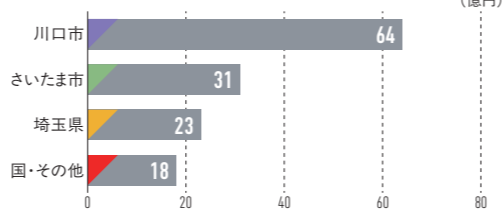
(注) 住民税は人口推計と1人当たり税額から算出。固定資産税・都市計画税は、地価差に基づき推計。共に25年CPIで実質化。

### 鉄道整備による納税額は

約**136**億円

川口市・さいたま市・埼玉県等、地域を支え続ける鉄道会社

■ 埼玉高速鉄道の納税額 [2000年から2025年累計] (億円)



## 駅勢圏の若年層(0~14才)が

約**1.3**倍 (約6.7千人増加)

(出典) 国勢調査 地域メッシュ統計(2000年 2020年)に基づき作成

沿線に小・中学校も新設されています

- 美園北小 [2019年開校] 1,304人増
- 美園小 [2012年開校] 1,060人増
- 戸塚南小 [2005年開校] 985人増
- 美園南中 [2019年開校] 755人増

## 沿線価値向上と手頃な地価の両立

住宅地の地価が約**1.2**倍



都心から20~25km圏の比較では、地価が抑えられ手の届きやすい価格

浦和 48.7万円/㎡ | 流山おおたかの森 32.8万円/㎡ | 浦和美園 **23.8**万円/㎡

(出典) 国土数値情報、地価公示、都道府県地価調査(2025年)に基づき作成 ※駅から1km圏の公示地価、都道府県地価調査(2025年)の住宅地平均値

## 都心への通学にも便利!

通学利用者の

約**68**%が都心へ通学

- 約**38**%が直通先の東京メトロ南北線に
- 約**30**%がそれ以外の東京23区をご利用

(出典) 大都市交通センサス(2021年)

### [開業]

2001 赤羽岩淵~浦和美園駅開業

赤羽岩淵~浦和美園駅が開業  
武蔵小杉駅まで  
直通運転を開始



2002 路線愛称決定

路線の愛称を一般募集  
『彩の国スタジアム線』  
に決定!



2002 スタジアム輸送を支える

国際大会の開催で、SR線が  
主要アクセスを担う



2002 終電を浦和美園駅まで延長

東川口駅止まりだった下り終電を  
浦和美園駅まで延長  
利便性が大幅に向上



2006 開業5周年

開業5周年、  
地域に根付き日常の足として  
信頼される鉄道に



2008 東急目黒線と直通運転区間を日吉駅まで延伸

目黒線との直通区間を  
日吉まで拡大、アクセス網を強化



2011 開業10周年

開業10周年。震災当日にも  
運行をいち早く再開



2012 累計利用者3億人突破

利用者3億人を達成!  
記念列車を運行

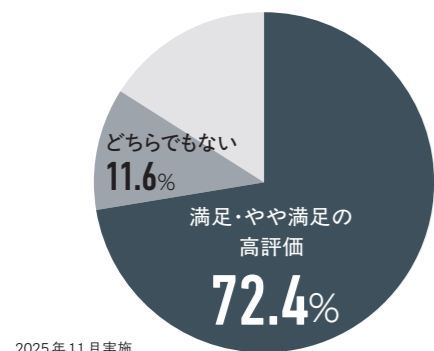


# 安全、安心、満足いただける暮らしに貢献! 末永く暮らしやすい沿線エリアへ

お客様満足度が

## 72.4%

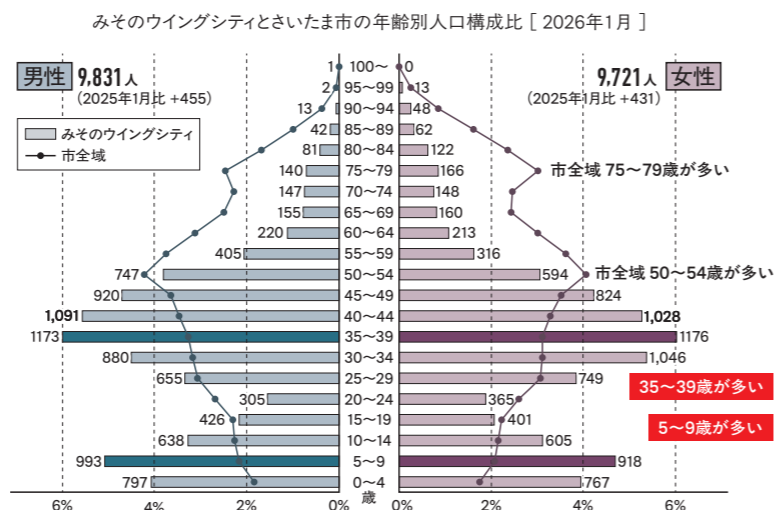
確かな支持を原動力に、  
地域の皆さまとともに活力ある  
未来の暮らしを実現



2025年11月実施  
利用者アンケートによる

若い人口構成、将来の鉄道利用拡大も期待

埼玉高速鉄道の沿線はさらなる発展が見込める地域



(出典) アーバンデザインセンターみその (UDCM) 公式Webサイトの公表資料を参考に一部加筆  
(注) みそのウイングシティは、浦和美園駅及び埼玉スタジアム2002周辺の約320haの土地区画整理事業の愛称です

安全・安心  
環境にやさしく

定時運行率 99.6%  
3年連続  
快適な安定輸送を実現

開業以来  
重大な運転事故 0 継続  
安心してお乗りいただけるよう努力

リダンダンシー (代替性) の  
確保に貢献  
災害時の輸送にも効果を発揮

2011年東日本大震災  
当日21時20分  
全線運転再開  
終夜運転を実施

CO<sub>2</sub> 最大 61万トン削減  
鉄道利用にシフトすることで  
環境にもやさしく

自動車からの  
シフトにより  
排出量約 1/7  
環境負荷モデルによる試算

## 今後の取り組み

沿線地域とのパートナーシップと  
さらなる貢献

自然・歴史・文化があふれる  
沿線地域の発展に貢献



見沼田んぼ桜回廊



宮崎山地蔵院



浦和美園まつり&花火大会

# さらなる飛躍を目指して

岩槻方面への延伸計画

埼玉高速鉄道線 (地下鉄7号线) 延伸 (浦和美園~岩槻~蓮田) については、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに位置付けられ、「埼玉県東部と都心部とのアクセス利便性の向上を期待」とする意義が示されています。このうち、浦和美園から岩槻までの区間については、先行整備区間として位置付けられています。この先行整備により、都心部への速達性・利便性の向上や鉄道空白地域の解消など「東京圏の鉄道ネットワーク強化」や「災害時等の代替路線機能の充実」に大きな効果があります。また、さいたま市の副都心である美園地区と岩槻駅周辺地区が結ばれることで、地域の成長と発展が期待されます。



さいたま市による  
中間駅周辺地区整備イメージ



(出典) さいたま市資料に加筆  
※イラストはイメージであり、今後の検討により変更がある可能性があります。

期待される効果

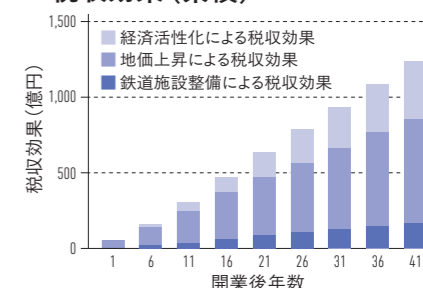
- 都心へのアクセス性向上
- 埼玉スタジアムへのアクセス性向上
- 埼玉県東部と都心部のネットワーク強化
- 災害時の代替ルート確保
- 美園・岩槻地区の連携と地域成長の加速

● 経済波及効果



(出典) さいたま市資料

● 税収効果 (累積)



(出典) さいたま市資料

延伸計画の概要

整備区間 : 浦和美園~岩槻  
営業キロ程 : 約7.2km  
概算事業費 : 1,440億円 (2025年4月価格)  
概算工期 : 14年 (速達性向上計画の認定から開業までの期間)  
B/C : 1.2  
収支採算性 : 27年 (累積資金収支黒字転換年次) (出典) さいたま市資料



開業から25年 2026年の浦和美園駅

2015

トンネル内携帯サービス開始

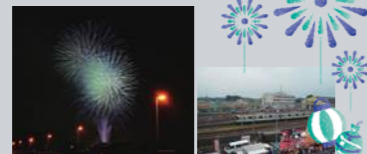
全線トンネル内で  
携帯が利用可能に  
利便性がさらに向上



2015

浦和美園まつり開催

浦和美園まつり&花火大会を開催  
地域が活気づく



2015

路線愛称変更

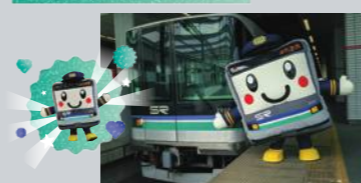
「彩の国スタジアム線」から  
『埼玉スタジアム線』へ変更



2016

『たまさぶろう』登場

マスコットキャラクター  
『たまさぶろう』が誕生!!



2021

鉄道事故ゼロ20年連続達成

安全性の高さを示す  
節目の年に  
現在も無事故記録を  
継続中



2021

開業20周年

開業20周年、  
地域に愛される  
鉄道へと成長



2023

直通区間を東急・相鉄線まで拡大

東急・相鉄方面との  
直通区間を拡大  
アクセス性がさらに向上



2026

開業25周年

開業25周年、感謝とともに  
新たな未来へ歩み出す。

